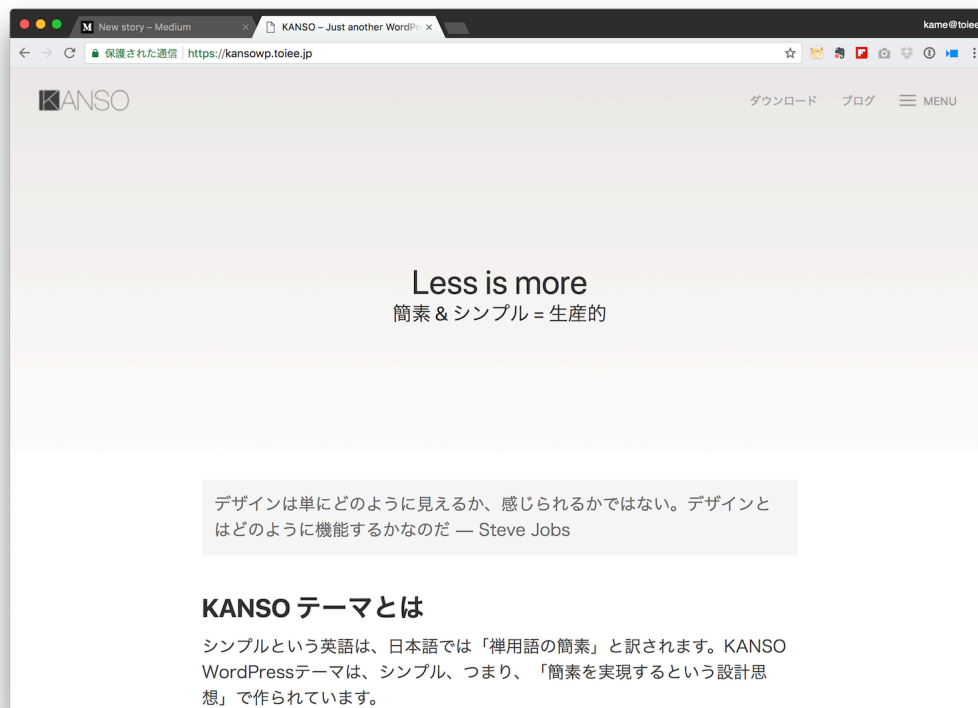


# KANSO テーマでWordPress

シンプル = 生産的

---



version 2.0

toiee Lab LIVE™ textbook for Learning Faciliator

© 2017 toiee Lab (toiee.jp)

# 講座前の準備について

---

このワークショップは、WordPressの基礎を理解していることを前提としています。WordPressボトムアップワークショップを受講済みレベルを前提としています。

また、講座前に「<https://kansowp.toiee.jp/>」にて、KANSOテーマのインストール、設定を終えている状態でスタートするように設計されています。

また、Markdownエディタをインストールしてもらおう。可能なら、事前に触っておいてもらうと良いでしょう。

## 講座資料について

---

<https://kansowp.toiee.jp/> が講座資料となる。また、Workshop用のページも用意されているので、そちらを参照するように案内する。

# イントロ

---

講座の導入です。講座のゴールなどに触れます。

開始	終了	所用時間
0:00	0:05	5min

## 設計意図

---

- 今日の講座のゴールを知らせる
  - (1) Less is more : ミース・ファンデル・ローエ
  - (2) シンプルとは究極の洗練である
  - (3) 削ぎ落として、無駄を減らして、作ることを学びます
- 驚くほどの「生産性向上」を狙って、KANSO の仕事術を学びます
- 使い方ではなく「仕事術」を学んでもらうことを意識してもらう
- それともう一つ、「マニュアルサイトをみる方法」も学んで帰ってもらう

## ワークの進行

---

### 1. 話す

- つかみをしっかりさせる
  - 名言を紹介する（シンプルに関するもの）
  - 減らせば、減らすほど、良いデザイン、良いサイト、時間がかからない、伝わるを目指す
  - 生産的、時間をかけない作り方を学ぶ
- 信じられないぐらい「早くサイトを立ち上げ、作って、公開」「更新」できるようになる
- 仕事術を次々と「探求して」学ぶ
- マニュアルサイトを読めるようになってもらう
- だから、資料はないよ！

#### ポイント

- 長い自己紹介などはせず、短く説明して、スムーズに次のワークに入る
- ゆっくり、落ち着いて話す

# ウォーミングアップ

---

学習に取り組みやすくするための、ウォーミングアップのワークです。

開始	終了	所用時間
0:05	0:15	15min

## 設計意図

---

- Good & Newで、リラックスする。他の参加者と打ち解ける
- Think & Listenで、「シンプル思考モード」になってもらう

## ワークの進行

---

### 1. Good & New

- 学習モードに入るために、ウォーミングアップのワークをする
- 端的に、「良く」て、「新しかった」ことを説明するワーク
- 些細なことで構わない
- 例) 今日朝食食べたサンドイッチが美味しかったです

#### ポイント

- クッシュボールが必要
- やり方をデモして示すと、学習者にとって理解しやすい
- なんと良いかかわからない学習者がいるときは、「些細なことでもいいですよ」「今日の朝何かなかったですか？」などと介入する

### 2. Think & Listen

- Think & Listenは、思いつくまま、頭によぎったことを流れるように話すワーク
- 支離滅裂になっても構わないので、話し続けてもらう
- ペアになってもらい、話し手と聴き手を決めてもらう
  - このワークでは、資料を見ながら、話してもらう
  - 「そもそも・・・がわからない」と話し始めてもらう

- テーマは、**シンプルがいい理由** を無理やり話して、シンプル思考モードに入ってもらおうこと

#### ポイント

- 説明しきってからではなく、「まずはペアになってください」など、行動をさせながら説明すると、説明しやすい
- デモをすると、学習者がThink & Listenの取り組み方を理解しやすい
- 話し手と聴き手を決めてもらう時、「朝早く起きた方から」などこちらが言うとスムーズに決まりやすい

### 3. 発表する

- 参加者(2、3人)に発表してもらう
- 面白い話は、あったか？

### 4. まとめ

- シンプル思考モードのまま、進んでいこう！と伝える

# Webサイト構築術を学ぼう

---

Webサイトを一気に立ち上げる方法を探求して学ぶ。

開始	終了	所用時間
0:15	0:50	35min

## 設計意図

---

- マニュアルの見方を練習する
- KANSO特有の「Webサイト構築」を学ぶ
- 実際に作ってみて、感じて、考える

## ワークの進行

---

### 1. 説明 & デモ (10min)

(KANSOテーマのインストール、設定は正しく終了していることが前提。特に、サイドバーのウィジェットの設定が正しく行われていることが重要)

- 仕組みを説明する
  - 固定ページ(と並び) が「サイドバーの目次」として自動で使われる
  - 隠すことができる
  - 実際にやって見せる (ページを追加し、階層をつけると出来上がる)
- ワークの説明
  - 実際にやってみよう!
  - (1) KANSOのWebサイトを真似して、固定ページに追加 (自分で考えてもOK)
  - (2) 階層構造を作るなどやってみよう
  - (3) この仕組みを最大限に活用するには、どのような手順でWebサイトを作ったら良いだろうか?
- 補足説明
  - 操作が苦手な人がいるか尋ねる
  - IT5つのステップを紹介する
  - IT5つのステップを使って、Nested Pageの操作を試す

### 2. ワークする (20min)

- マニュアルページを開いてもらう
- その説明を見ながら、進めてもらう
- 以下を考えてもらうように仕向ける
  - この仕組みは、どんないいことがあるのか？
  - どのような作業手順にすれば、この仕組みを最大限活用できるか？

### **3. 発表 (5min)**

- この仕組みは、どんなメリットがあるか？
- 最大限に活かすには、どうしたら良いか？

# デザインの仕組みを学ぶ

---

Webサイトの仕組みを学び、トップページなどを完成させる。

開始	終了	所用時間
0:50	1:25	35min

## 設計意図

---

- マニュアルの見方を練習する
- KANSOのシンプルな「デザイン、レイアウト」を学ぶ
- 実際に作ってみて、感じて、考える

## ワークの進行

---

### 1. 説明 & デモ (10min)

(KANSOテーマのインストール、設定は正しく終了していることが前提。特に、サイドバーのウィジェットの設定が正しく行われていることが重要)

- 仕組みを説明する
  - フロントページと、それ以外のページでレイアウトが違う
  - メニューを入れることができる
  - ページのレイアウトが変えられる
  - スマホでは、どうなるのか？
  - 実際にやって見せる（ページを追加し、階層をつけると出来上がる）
- ワークの説明
  - 実際にやってみよう！
  - (1) KANSOのマニュアルページを参考に実験して、理解しよう
  - (2) なるほど！わかった！となるための実験を行いましょ！
  - (3) わからなかったこと、どのような実験をして、わかるようになったのか？を発表してもらおうよ
- 補足説明（必要そうなら）
  - もし、不安そうな人がいて、全くできない様子なら全員の前で、デモをする
  - (1) わからないこと、知りたいことは何か？（ページを読んでもらう）
  - (2) それを理解するには、どんな実験をしたら良いか？尋ねる



- (3) 尋ねても答えがなければ、「ここを触れば良さそう！」と思う場所を直感で答えてもらう
- (4) なぜ、そう思うか？を一応聞く
- (5) 実際に触ってみる、そこからIT5つのステップを繰り返す
- (6) 振り返る（どんなものなのか？）

## 2. ワークする (20min)

- マニュアルページを開いてもらう
- その説明を見ながら、進めてもらう
- コピペして作ってもらうことを推奨する
- 以下を考えてもらうように仕向ける
  - 発見したこと、それをどんな実験をして理解したか？
- 途中で止めて、振り返りをしても良い

## 3. 発表 (5min)

- 発見したこと、それをどんな実験をして理解したか？

# 休憩

---

休憩する

開始	終了	所用時間
1:25	1:35	10min

# Markdown で KANSO を使う

---

Markdown を利用する方法を学ぶ。Markdownに親しむ。

開始	終了	所用時間
1:35	2:20	45min

## 設計意図

---

- Markdown について、能動的に学ぶ
- 仮説が正しいか、しばらく実験して見る
- とても便利だと実感してもらう
- それを通じて、「仮説」「検証」「体感する」という学び方をする

## ワークの進行

---

### 1. 説明 (2min)

- Markdown を使うことで、作業効率が非常に上がる
- 文章を作るスピード、質も上がる
- 検索エンジン対策にも有効に働く
- ショートコードを使うときに、効力を発揮する
- HTML(Uikit)を使うときに効力を発揮する
- やっていこう

#### ポイント

- なるべく説明を短くする

### 2. Markdown のデモ (3min)

- Markdown について簡単にデモンストレーションする
- 見出し、箇条書き、太字、リンク、画像をデモンストレーションで見せる
- WordPressでプレビューをする様子を見せる

### 3. Markdown の実験 (15min)

- やること
  - Markdown の解説ページを見て、WordPressで試してもらう
  - 大体の概要を理解する
- 伝えること
- 「Markdownがわかった！」と思えるように触ってみよう
- どんな実験をしたらいいか、考えて、どんどん試してみよう！

### 4. 中間発表

- Markdownは理解できたか？
- どんな風にしたら理解できるようになったのか？

### 5. Markdownエディタを試そう (15min)

- デモンストレーションする
  - エディタの便利さを見せてあげる
  - iA Writerの様子
    - WordPressに画像をアップしながらの様子
    - Dropshsreを使ったワークフローも見えてあげる（可能なら）
  - StackEdit などの様子
- 時間の許す限り、試してもらう

### 6. 感想 (5min)

- Markdownの感想について

# ショートコード、uikit

---

ショートコードを試し、uikitを試す。概要を理解する。

開始	終了	所用時間
2:20	2:40	20min

## 設計意図

---

- 大雑把にショートコードを理解する
- ショートコードの使い方を理解する
- マニュアルを見て、コピペすることを知る
- uikit を少しだけ触れる（わかる人用。HTML/CSS/uikitのワークショップを受けたら価値がわかる）
- 後の「デモ分析」に役立つ程度の理解があれば良い
- 

## ワークの進行

---

### 1. 説明 & デモ (5min)

- ショートコードについて、デモンストレーションする
  - ショートコードの一覧を使って試す様子を見せる
  - 投稿表示などを見せる
- uikit について
  - HTML/CSSの知識と、uikitを調べる力があれば
  - 色々できる
  - 無理もやろうと思えばできる
  - 簡単に使えるオススメが、記載されていることを教える

#### ポイント

- なるべく説明を短くする

### 2. 探求する (15min)

- 自由に試してもらおう

### 3. 感想

- 発見したこと
- 感想

# デモ探求

---

デモを探求する。

開始	終了	所用時間
2:40	2:55	15min

## 設計意図

---

- これまでの知識を活かして「デモ」を探求する
- どんな構造になっているか？をチェックする
- 発見をシェアする
- 他者が作ったものを分析する力を養う

なお、時間が足りない可能性がある。

## ワークの進行

---

### 1. 説明

- デモサイトを見てもらう
- どのように記述しているか、見ることができる（その方法を教える）
- 研究してもらう
  - 気になる所を見つける
  - 見つけたら、どうやって実現しているか？予想する
  - チェックして見て、驚く、感心する
  - 以上を繰り返す
- どんな発見があったか発表をしてもらうと伝える

### 2. 研究

- 研究中、声かけをする

### 3. 発表

- 2,3人に発表してもらおう
-



# まとめ

---

開始	終了	所用時間
2:55	3:00	5min

## 設計意図

---

- 今日の学び方と、普段の学び方を比較する
- 自分がどう学ぶか、これから、どう発展させるかを考える
- お互いの発見をシェアしあうことで、チームで学ぶことの意義を知る

## ワークの進行

---

### 1. 振り返り

- 学んだことをシェアする
- 今日の学びのトップ3は？
- いつもの学び方と、今日の学び方の違いは？
- 今後、どうしていくか？